



真宗大谷派
(東本願寺)

桑名別院 本統寺

第50号

発行所:桑名別院

発行人:長澤隆司

ご坊さんだより

2026年

2月

【ご報告】 桑名別院報恩講厳修

このたびも例年のとおり多くの方にご参詣、またご奉仕をいただき、先人からつながる願いが、力強くひとつの道として目に見えるような報恩講でありました。

長年、桑名別院報恩講の御満座(最終日)にてご法話いただき、桑名別院を大切にしてくださった池田勇諦氏が昨年6月にお亡くなりになりました。真宗本廟での御正忌報恩講に向けた宗務総長のメッセージをお借りいたしますと「親鸞聖人はもとより、池田先生のご恩に応えるためにも、如来のおはたらきを感じることでできる報恩講としたい。」そんな思いでお迎えした報恩講。このたび、御伝鈔拝読のお役を拝命しました私(編集担当)も持てる力を出し尽くしました。



有縁の皆さまをお誘い合わせのうえ、ぜひご参詣ください

2025年 12月20日(土)〜23日(火)

真宗大谷派 桑名別院 本統寺

報恩講

桑名別院 本統寺

510-0073 桑名別院 6-8-47 電話 0550-22-0352

御伝鈔 柳野明仁氏 片山寛隆氏 宮部 渡氏 蒲池勢至氏 員辨 武井弥弘氏 長澤隆司氏 尾知文正氏

23日 本山鍵役御参修 帰敬式 午後1時〜15時 全日 11時〜15時

さる12月20日〜23日までの三晝夜(4日間)にわたって、桑名別院の「報恩講」を厳修いたしました。

つながるいのち、つながるねがい。



12月20日

【上巻拝読】 金森 了悟(桑名別院列座) ▲

宗祖のご恩徳を偲び
ご生涯を伝承する

御伝鈔 拝読



12月21日

【下巻拝読】 鈴木 勘吾氏(准堂衆) ▲



内陣出仕(3月の慶讃法要への出仕予定者等) ▲



【剃刀の儀】 ▲

12月20日 来る3月1日に厳修予定の「みんなで歌う慶讃法要」(松阪市)の同様の次第にてお勤めしました。

音楽法要

12月23日 午前9時より大谷浩之鍵役執行のもと「帰敬式」が行われ、参加者6名はお釈迦様の「釋」の字が冠せられた法名をいただきました、新たな仏弟子となりました。

帰敬式

報恩講 法話

く。受にすいま、し。難け受け身人。
く。聞にすいま、し。難き聞仏。

下記は
編集担当の
受け取りです

12月20日

宮部 渡氏

大阪教区第15組 西稱寺 住職

初日、二日目と雨天になり、お参りを躊躇した方もいると思います。しかし、とても難しい確率で人の身として生を受けた私たちは（煩惱によつて聞き難くもあるが）命の願いを聞くこと、仏法の「醍醐味」を味わうことができる。ただし、次の息が吸えるか分からない一息の命を生きる私たちである。だからこそ、「火の中を分けても法は聞くべきに 雨風雪はもののかずかは」「仏法の事は、いそげ、いそげ」ということを蓮如上人も強く述べられた（伝承）。

12月20日

柳野 明仁氏

岡崎教区第11組 本澄寺 住職

昨年（2023年）に続き、宗祖のご生涯について、中でもこのたびは主に宗祖が大切にいただいたかた聖徳太子、仏教がいかに日本に伝来したかについて「絵解き」をいただきました。

いつか畳の縁なんかも転ぶ時期が来ることを我人生の延長上に分ける。それを「ひっくり返る」という。しかし日頃は転ばぬ先の杖を求めておる。聖徳太子の「和を以て貴しと為す」という「和」に出遇い、背中を押され、法然上人に出遇った親鸞聖人のただ念仏「南無阿彌陀仏」。それは、転んで初めて、我二本の足を支え続ける大地に、私が生きておるんじゃないかと、生かされておりました、と頭が下がることである。そんなご縁を頂戴しておるのでなからうか。

12月21日

蒲池 勢至氏

元同朋大学特任教授／同大学仏教文化研究所研究顧問
名古屋教区長善寺前住職

「親鸞聖人讃仰講演会」（三重県真宗教学学会共催）では、蒲池先生より、「親鸞聖人の葬送―小さなお葬式だったか―」という講題にて、御講演いただきました。

具体的には不明ですが、親鸞聖人の葬儀は俗にいう「小さなお葬式」であった可能性が高いです。しかし、その後弟子が拾骨をし、多くの者が思いを馳せた。その死者を敬う信敬の姿をみたとき、果たして現代はどうでしょうか。お骨になった死者の尊厳性を守れないものは、今生きている自分の尊厳性も守れない。そう、この頃思っています。



12月22日

武井 弥弘氏

京都教区石東組明覚寺住職
九州大谷短期大学副学長
（元桑名別院輪番）

念仏は灯台のようなもの。迷える自覚あれば、行く先が分かる。ただし、次に助かることばかりにとらわれれば、昔話のように化かされることもあるでしょう。どこまでも自分の居場所がはつきりせねばならないことが仏教なのです。そのうえで、どこに向かうのか。極楽浄土に生まれるならば、それは仏の願いの世界であり、今度は諸仏となつて働く。「輪廻転生」「追善供養」の必要ない世界。亡くなった人を亡者ではなく、仏様として、そこから大事なことが働きかけられているといったく世界。そこが信心の問題であり、証明するのが念仏である。「報恩講」そのものは供養の儀式である。尊敬の念をもって御礼を言い、そこにちゃんと念仏をさせていただきましょう。

12月23日

尾畑 文正氏

員弁組 泉稱寺 前住職
元同朋大学学長
同朋大学名誉教授

人間は誰もが死ぬ、ならば生きる意味は何か。仏教は死んでからの話ではなくて、生きているこの身を明らかにさせてくださる教えであること。

家族や友人の死によつて、その御教化にあずかる中で、善知識（善き人）に遇う中で、誰もが仏様になるんだと、すべての人を仏様としていただかせてもらう教え（浄土真宗）をいただくようになりました。

お金を基準（資本主義）にすれば原発をつくり、敵でもない敵をつくり、戦争をし、自ら地獄餓鬼畜生の世界をつくり、苦悩するものに、人間であることを回復させる世界（国）として法蔵菩薩が建立された世界が浄土です。つまり浄土を真実の要（かなめ）、依り処、基準として生きることは、そこではじめて人間を回復していくということです。「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」という願いがお念仏です。その仏様の呼びかけに呼応するとき、安穩を目指す生き方が決まってくるのです。

晨朝後の法話や法要前のご挨拶では、桑名別院責任役員の方々より、報恩講をお迎えするにあたっての心持ちや、慶讃法要に向けての思いなど、ご自身の体験をもとに大事なことをお伝えいただきました。



片山 寛隆氏



伊藤たね子氏



別院輪番



員弁 曉氏



ともに つくる

報恩講をお迎えするにあたり、多くの方々に事前準備にお集いいただきました。中でも「お齋」は、担い手不足等の課題もあるなか、牧野行良氏（お齋方代表）、荒木智哉氏（朝日町西光寺住職／元別院職員）を中心に様々ご検討いただいております。

お齋の内容 ▼ お齋づくりの様子

お餅づくり ▼ お華束づくり



次は慶讃法要

この度の報恩講は、来る教区・別院慶讃法要に向けてのお待ち受けともなることを願い、日程中、慶讃法要をお迎えする意義や内容について、委員の方よりお伝えいただきました。

三重教区慶讃事業推進委員会
参拝儀式部会 主査 高木 彩氏



何十年、何百年、脈々と受け継がれる報恩講。元職員・列座の方にご加勢いただいております。
写真【左】本年度講師控室にて【右】元桑名別院輪番の武井弥弘氏と当時職員（25年前）▲

参る人も、支える人も みんなで勤める報恩講

「報恩講」へのご参詣、ご参勤、ご奉仕を賜り、おかげさまをもちまして本年度も別院報恩講を無事厳修できましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年来る「慶讃法要」、並びに次年度「報恩講」に向けて、またおひとりおひとりが本願念仏の御教えを生活の依りどころとした、「知恩報徳」の一年を歩まれますよう念じ申し上げます。

【音響設営・写真提供】
桑名別院責任役員
員 辨 暁 氏
（員弁組圓光寺住職）



本山御参修・教区坊守会・教区の皆さま

御堂役・お手伝い

出仕者（教区内僧侶・教務所職員）



式支配（座配）

三重教区合唱団「ひかり」、参加者

九華雅楽会（楽僧）



お齋方（別院婦人会・桑名組門徒会・お手伝い）

准堂衆

別院列座



2月の行事予定



法話(又は講演)のご案内



◇ 人生講座 会費 500 円

2月1日(日) 7:00 ~ 8:00

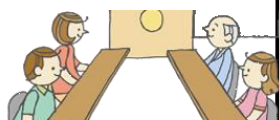
講師 池田 徹氏
(桑名市 西恩寺 住職)

※ 3月の人生講座は慶讃法要と重なるため、
中止とさせていただきます。

◇ 同朋の会 【正信偈のことばにふれる②】

2月6日(金) 13:00~15:00 会費 500 円

講師 長澤 隆司
(桑名別院 輪番)



※ 毎月第一金曜日開講。

※ 次回 4月3日(3月はお休みです)

◇ 桑名別院法話のつどい

※ 慶讃法要の予行と重なるため、
中止とさせていただきます。

◇ 親鸞聖人御命日のつどい

※ 慶讃法要前日準備のため、
中止とさせていただきます。

◇ 晨朝法話

毎朝 7:00 からの勤行後
法話 別院列座(13日、28日の御命日は輪番)



法要(お勤め)のご案内



◇ 晨朝(おあさじ) 毎日 7:00~

◇ 祥月経 毎日 9:00~

毎月 13、28 日は 13:00~、31 日は前日に兼ねます。

加えて今月は、13 日、21 日は前日に兼ねます。

他の時間に祥月経をご希望の方、
または年忌等、各種お参りをご希望の方は
寺務所までお問い合わせください。

◇ お夕事 毎日 16:00~

◇ 御命日のお参り

先門首 13 日 / 親鸞聖人 28 日

前 日: 13:00 より速夜
御命日: 7:00 より晨朝、9:00 より日中

◇ 御歴代御命日

2 月 2 日(月) 実如上人 第 9 代

6 日(金) 彰如上人 第 23 代

8 日(日) 現如上人 第 22 代

22 日(日) 乗如上人 第 19 代

※前日の速夜は午後3時より

29 日 善如上人 第 4 代

※25日(水)に繰り上げます

前 日: 16:00 より速夜
御命日: 7:00 より晨朝兼日中



◇ 聖徳太子御命日(御正当)

2月22日(日) 聖徳太子



前 日: 15:00 より速夜(兼)乗如上人御命日速夜
御命日: 7:00 より晨朝(兼)乗如上人御命日晨朝兼日中
9:00 より日中

三重教区・桑名別院 宗祖親鸞聖人御誕生
八百五十年・立教開宗八百年 慶讃事業 並びに
慶讃法要への御参加・御参詣をお待ちしております。



★ 人と生まれたことの意味を考える いのちのフォーラム

2月18日(水) 19:00~20:30 [オンライン可能]

松阪会場〈第1回〉: 悲しみと共に生きるには

講師: 真城 義彦 (愛媛県善照寺住職)

会場: 松阪公民館 (イオンタウン松阪船江2階) 受講料・申込必要

★ 終活サポート講座 【第3回(全3回)】

2月21日(土) 14:00~16:00

〈会場: 託縁寺(津市)〉

受講料: 2,000 円 (全3回分)

★ みんなで歌う慶讃法要に向けた リハーサル

① 2月13日(金) 14:00~16:00

会場: クラギ文化ホール(松阪市)

② 2月20日(金) 13:00~16:00

会場: 桑名別院

【みんなで歌う慶讃法要】 2026年3月1日(日)
クラギ文化ホール(松阪市)

【家族でつどう 慶讃法要】 2026年5月3日(日/祝)
桑名別院



@106ihhaj

真宗大谷派(東本願寺)
桑名別院 本統寺

住所 ▶ 〒511-0073 三重県桑名市北寺町47番地
寺務所の開閉時間 ▶ 平日(土日祝以外) 9:00~17:00
TEL ▶ (0594)-22-0652 FAX ▶ (0594)-22-0681
メール ▶ kuwanabetsuin@gmail.com

